

## 2 地球温暖化関係

- 2.1 千葉県における温室効果ガス排出量部門別内訳
- 2.2 CO<sub>2</sub>CO<sub>2</sub>スマート宣言事業所（プレミアム・コース）登録事業所の取組内容
- 2.3 県自らの事務・事業による環境負荷低減の取組実績（2024年度）

## 2.1 千葉県における温室効果ガス排出量部門別内訳（2021年度）

分類・部門		温室効果ガス排出量 (千 t-CO <sub>2</sub> )
エネルギー起源二酸化炭素	エネルギー転換部門	1,363
	産業部門	40,443
	家庭部門	7,185
	業務その他部門	8,753
	運輸部門	9,785
	廃棄物部門（原燃料使用）	366
非エネルギー起源二酸化炭素	廃棄物部門（単純焼却）	1,176
	工業プロセス部門	1,502
二酸化炭素以外	メタン	677
	一酸化二窒素	680
	HFCs	141
	PFCS	55
	六ふっ化硫黄	37
	三ふっ化窒素	6
合 計		72,170

（注）端数処理（四捨五入）の関係で合計が一致しません。

## 2.2 CO<sub>2</sub>CO<sub>2</sub>スマート宣言事業所（プレミアム・コース）登録事業所の取組内容

事業所名称	取組内容
株式会社千葉銀行本店	地球温暖化対策として、照明のLED化等の省エネ施策や環境対応車の導入を促進しているほか、長生郡一宮町にて、「ちばぎんの森(第6)」森林整備活動を実施し、失われつつある海岸保安林の再生に取り組んでいます。
妙中鉱業株式会社	生産性向上（技術開発・自動化設備導入等による収率・収量改善）を基軸としたさらなる省エネの実現に取り組んでいます。 また、新たに水使用量と廃棄物削減の取組目標を設定し、達成状況を記録・管理しています。
東京都市サービス株式会社 幕張新都心ハイテク・ビジネス地区熱供給センター	幕張新都心ハイテク・ビジネス地区熱供給センターは、我が国初の「下水処理水の持つ熱を有効活用した環境保全型地域熱供給システム」を導入しています。外気温と比べて、冬は温かく、夏は冷たい特性を活かした下水処理水の温度差エネルギーと「蓄熱式ヒートポンプシステム」を利用した熱供給により国内の地域熱供給プラントにおいてトップレベルの省エネルギーと低CO <sub>2</sub> の実績を有しています。
直販配送株式会社富里センター	当社では資源を無駄にしない為に、4Rの徹底や自主的に環境保全に取り組んでいます。現在ペットボトルキャップやプルタブの分別をし、寄付活動をしています。全従業員で協力をして廃棄物削減に向け日々考えて取り組んでいます。
直販配送株式会社房総センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化、脱炭素、SGDs等々情報収集し、従業員への告知や掲示にて省エネの促しを行っています。</li> <li>無人スペースの消灯及び蛍光灯の間引き実施により節電・省エネに努めております。</li> <li>コピー用紙のリサイクル及び裏面使用、電子化によるペーパーレスの推進により限りある資源の抑制を図っています。</li> <li>配送車両のエコドライブを心がけ定期的な燃費実態確認を数値化して配送員への開示と教育を実施しCO<sub>2</sub>排出抑制に努めています。</li> </ul>
順天堂大学医学部附属浦安病院	当院では環境に優しいエコホスピタルの実現に向けて、専門会議を立ち上げ活動しています。この会議では、省エネ対策だけでなく、ペーパーレス化やゴミの分別などSDGsに関するものを議題に挙げ、より具体的な対策を計画・実行しております。 また、カーボンオフセット都市ガスを導入し、2024年度は約387トン分のCO <sub>2</sub> 削減効果を得られています。今後も院内で働く職員が高い意識を持ち、患者さんや御来院される方にもご協力いただきながら、エコへの取り組みを積極的に推進してまいります。

## 2.3 県自らの事務・事業による環境負荷低減の取組実績（2024年度）

### （1）二酸化炭素排出量

（単位：t-CO<sub>2</sub>）

区 分	二酸化炭素排出量 (2024年度)	基準年度 二酸化炭素排出量 (2013年度)	基準年度 からの増減
電気 (調整後排出量)	289,800 (289,794)	318,785 (311,135)	▲ 9.1% (▲ 6.9%)
庁舎等燃料使用	38,935	36,228	7.5%
都市ガス	23,686	23,152	
LPガス	1,934	2,402	
灯油	4,102	4,844	
A重油	5,592	5,684	
B・C重油	0	0	
ガソリン	93	38	
軽油	123	28	
天然ガス	50	79	
蒸気・温水・冷水	3,353	-	
公用車燃料使用	1,923	2,608	▲ 26.3%
ガソリン	1,478	1,826	
軽油	445	754	
天然ガス	0	28	
LPガス	0	0	
船舶燃料使用	1,642	3,052	▲ 46.2%
A重油	1,421	2,805	
軽油	216	245	
ガソリン	4	2	
合計 (調整後排出量)	332,299 (332,293)	360,673 (353,024)	▲ 7.9% (▲ 5.9%)

注：端数処理（四捨五入）の関係で、「合計」が一致しない場合がある。

(2) 温室効果ガス総排出量

(単位：t-CO<sub>2</sub>)

区 分	温室効果ガス排出量 (2024 年度)					基準年度 総排出量 (2013 年度)	基準年度 からの 増減
	二酸化 炭素	メタン	一酸化 二窒素	ハイドロ フルオロ カーボン	総排出量		
電気 (調整後排出量)	289,800 (289,794)				289,800 (289,794)	318,785 (311,135)	▲ 9.1% (▲ 6.9%)
庁舎等燃料	38,935	541	103		39,578	36,228	9.2%
公用車燃料	1,923	3	54		1,980	2,671	▲ 25.9%
船舶燃料	1,642	4	12		1,658	3,085	▲ 46.2%
自動車エアコン				21	21	22	▲ 5.8%
麻酔剤 (笑気ガス)			375		375	405	▲ 7.3%
家畜の飼育、糞尿処理等		1,588	280		1,868	2,090	▲ 10.6%
水田		57			57	170	▲ 66.3%
農作物の栽培に使用された肥料			99		99	32	212.1%
下水処理・下水汚泥の焼却等		9,860	69,747		79,607	77,718	2.4%
合計 (調整後排出量)	332,299 (332,293)	12,054	70,670	21	415,043 (415,037)	441,205 (433,556)	▲ 5.9% (▲ 4.3%)
クレジット・証書等による減算量 (オフセット)					▲127		
クレジット・証書等による加算量 (オンカウント)					0		
クレジット・証書等による調整後の排出量 (調整後排出量)					414,916 (414,910)		▲ 6.0% (▲ 4.3%)

注1：端数処理（四捨五入）の関係で、「合計」又は「温室効果ガス総排出量」が一致しない場合がある。

注2：メタン、一酸化二窒素及びハイドロフルオロカーボンについては、二酸化炭素排出量に換算した値である。

(3) その他環境に配慮した取組

区 分	実 績 (2024 年度)
水道使用量 (千m <sup>3</sup> )	1,583
用紙使用量 (千枚)	404,534
事業系一般廃棄物(可燃ごみ)排出量 (t)	4,504
環境配慮物品の調達率 (%)	72.5%
電力の環境配慮契約件数 (件) (注)	289

注：2025年4月1日時点の契約数。